

2017 年 3 月

皆さまへ

生活文化研究会  
代表 坂根政代

『とっとりの人形物語～村を愛する人形浄瑠璃と人形芝居～』  
の発刊にあたって

この度、鳥取県協働提案連携推進事業の補助を受けまして、標記冊子を作成することができました。

鳥取県は、大阪、徳島、淡路等続くほどの人形浄瑠璃（人形芝居）の文化がありました。現在では、3つの座が鳥取において、人形浄瑠璃（人形芝居）の文化を引き継いでいます。

現存する3つの各座の「人形」の起こりは、「なんとか良い村にしたい」という思いでした。そして、地域ぐるみで「人形」を創りあげてきた歴史をもっています。今でいう、村おこしであり、地域を愛する思いから始まったということが、共通点としてありました。お話を聞き、先輩たちの村を思う熱い思い・人形への愛着に、私自身の心も温かくなり、誇りを感じました。この思いが、鳥取の人形文化の根幹に流れ、現在まで続けられてきているのです。

ぜひ、このことを知っていただき、そして「人形」への愛着を思っただけでいいと思い、この冊子を作成した次第です。

現存する鳥取県の人形浄瑠璃（人形芝居）の3つの座のことが、一冊にまとめられたことが、「とっとりの人形物語」の大きな成果でもあると思います。

この冊子は、小学校高学年以上の方々に読んでいただくことを想定し作成しました。しかし、読みづらい箇所もあるかも知れません。読みづらい場合は、写真等を見ていただくことで、その思いを感じていただければと思います。

ぜひ、地域を知る、また、「人形文化」に興味や関心を持っていただくためにご活用いただきますよう、お願いいたします。